

奈良市の世界遺産「古都奈良の文化財」25周年記念

なんと はっけい

「古都奈良の文化財 新・南都八景」オンライン投票 開始

 「世界遺産登録25周年記念」特設WEBサイト <https://kotonara25.jp/> にて/11月20日（月）まで

公益社団法人 奈良市観光協会（所在地：奈良市三条本町、会長：乾昌弘）は、本年12月2日にユネスコ世界遺産「古都奈良の文化財」が登録25周年を迎えることを記念し、八つの構成資産（東大寺、興福寺、春日大社、春日山原始林、元興寺、薬師寺、唐招提寺、平城宮跡）がお薦めする“写真映えする”撮影スポットから最も人気のスポットをオンライン一般投票により選定し、「新・南都八景」として制定いたします。

投票は11月20日（月）まで、「世界遺産登録25周年」WEBサイト<https://kotonara25.jp/> 内の特設ページより投票いただきます。

「南都八景」とは、室町時代、奈良の風情ある情景を選んで名付けられたもので、長い間、古都奈良の象徴として親しまれてきました。奈良市観光協会は、「古都奈良の文化財」登録25周年を機に、現代の「新・南都八景」を選定し、皆様に親しんでいただけるよう、広く発信してまいります。

発表は、世界遺産「古都奈良の文化財」25周年登録記念日の前日12月1日（金）に特設WEBサイトなどで行います。概要は以下の通りです。

『古都奈良の文化財』新・南都八景 投票について

日本各地にある「～八景」の一つ「南都八景」は、室町時代に始まり、江戸時代に定着したと言われています。
長い間、奈良を象徴する風景として親しまれてきました。
世界遺産登録25周年を記念して、8資産を舞台にした、「『古都奈良の文化財』新・南都八景」を募集し、選定いたします。

◆南都八景について
室町時代、奈良の美しい景色とそれにとけこんだ風物をえらんで名づけたもので、東大寺の鐘、春日野の鹿、南門堂の藤、猿沢池の月、佐保川の蜃、安井坂の雨、轟橋(とどろきばし)の旅人、三笠山の雪の八景をさします。



東大寺
Todaiji Temple

興福寺
Kohfukuji Temple

春日大社
Kasugataisha Shrine

春日山原始林
Kasugayama Primeval Forest

元興寺

薬師寺

唐招提寺

平城宮跡

▲「古都奈良の文化財 新・南都八景」投票ページ

「古都奈良の文化財 新・南都八景」オンライン投票 概要

投票期間：2023年11月2日（木）～11月20日（月）まで

アドレス：世界遺産登録25周年記念特設WEBサイト <https://kotonara25.jp/> 内の特設ページにアクセスのうえ投票ください。

内容：世界遺産登録25周年を記念して、東大寺、興福寺、春日大社、春日山原始林、元興寺、薬師寺、唐招提寺、平城宮跡の最も“写真映えする”撮影スポット「古都奈良の文化財 新・南都八景」を制定するために、**各資産から推薦された候補から最も人気のあるスポットを選ぶオンライン投票**を行います。

発表は、世界遺産登録25周年記念日の前日12月1日（金）に、特設WEBサイトなどで行います。

一般お問い合わせ：0742-30-0230（公益社団法人 奈良市観光協会） ※平日9:00～18:00

▼各資産から推薦されたスポット（一部）

※（ ）カッコ内は、各資産のお勧めポイント

資産名	候補地
東大寺	◆ 大仏池からの大仏殿 （大仏池から望む大仏殿は特に秋、紅葉の頃は美しい景観） ◆ 猫段と鐘楼 （八景に詠まれた東大寺の鐘とともに、猫段は新緑でも紅葉でも独特の風情がある）
興福寺	◆ 南円堂の夕日 （南円堂に夕日が沈む光景は美しい） ◆ 若草山からの興福寺遠望 （建立当時と同じ場所に建つ興福寺伽藍を眺め先人の祈りに想いを馳せる）
春日大社	◆ 藤染めの春日大社 （満開の藤が咲き誇る春日大社は、一年の中で最も美しい） ◆ 草萌る飛火野 （早春の飛火野は絶好の写真スポット）
春日山原始林	◆ 鶯の滝 （佐保側の源流、平安時代西行が歌をよむ） ◆ 滝坂の道 （旧柳生街道、往時の石畳が今に残る）
元興寺	◆ 日本最古の屋根瓦 （日本に仏教が伝来し、現代まで続く歴史を感じる事が出来る） ◆ 彼岸花と萩 （お彼岸の時期に必ず咲く彼岸花と奈良でも有数の元興寺の萩が境内に綺麗に咲く）
薬師寺	◆ 南大門付近からの白鳳伽藍全景 （東塔・西塔を南から一枚の写真に収めるにはここしかない） ◆ 東院堂付近から回廊越しの東塔・西塔 （両塔がそびえ立つ姿が立体的で美しい）
唐招提寺	◆ 金堂 （南大門からの参道、中ほどから金堂の全景がファインダーにおさまる。8世紀金堂建築の最高傑作で、世界で無二の名建築である。空の大きめに撮るのがお薦め） ◆ 金堂列柱 （金堂を側面から狙うと8本の列柱の向こう側に、紅葉や松林が写り込む。「若葉して御目の雫ぬぐはばや（芭蕉）」や、「おほてらの まろきはしらの つきかげをつちにふみつつ ものをこそおもへ（會津八一）」の情景を感じさせる）
平城宮跡	◆ 燕の峙入り （平城宮跡は日本有数の燕の峙となっています。7月中旬から8月下旬には、多い時で5万羽の燕が平城宮跡に一斉に降り立つ様子は圧巻） ◆ 朱雀門と萩 （平城宮跡の秋の風物詩。万葉集にも詠まれている萩ですが、秋風に揺れる銀色の穂と朱雀門が重なる景色は、ひと時の安らぎを覚える）

※上記の他にも候補地があります。詳しくはWEBサイトをご覧ください。

なんとはっけい

◆南都八景について

室町時代、奈良の美しい景色とそれにとけこんだ風物をえらんで名づけたもので、東大寺の鐘、春日野の鹿、南円堂の藤、猿沢池の月、佐保川の蛍、雲井坂の雨、轟橋(とどろきばし)の旅人、三笠山の雪の八景をさします。

奈良市WEBサイト：<https://www.city.nara.lg.jp/site/bunkazai/5689.html>